



中山利典 主査
(総社市消防署)

常日ごろから訓練を重ねています。ただ、搬送を急ぐあまり救急現場での必要な処置を怠ると、かえって症状が悪化することがあります。さら



● 中山 救急処

置に手間取
って搬送時
間が延長し
ないよう、



赤坂久志 さん
(市政モニター)

です。心臓機能停止状態で最も有効な薬剤で、医療機関でも最初に選択される薬剤です。

赤坂 なるほど。そのような高度な処置が、いち早く救急隊員の手で行えるようになったのですね。

● 的確な状況判断でベストを尽くす

赤坂

とところで、救急現場での処置が増えることにより、搬送に余分な時間がかかることはないのですか。

● 救急処置の範囲が拡大

赤坂

今日はよろしくお願ひします。家が消防署に近いので、よくサイレンの音を耳にします。救急車はどれぐらい出動しているのですか。

中山 現在、1日に換算すると7件ほどですが、年々増加の一途をたっています。

● 連携プレーで命を救う

赤坂

病院に着くまでの救急車のなかで、治療をしていると聞きました。特別な資格をもった人が消防署にはいるのですか。

中山

救急現場や救急車の中では、救急隊士の資格をもった隊員が、患者さんの容体に応じて、可能な範囲で必要な救急処置を行います。現在、消防署には18人の救急隊士がいます。そのうち3人が、現在、認定救命士の資格の認定を受けています。



模型を使って気管挿管の処置を行う中山主査。一刻を争う救急現場では、緊迫した状況のなかで処置を行うことになる

赤坂 確かに、責任の重大さは以前より大きくなったと思います。しかし、基本的な考え方は変わっていません。とにかく、患者さんやその家族に対して、その場その場で最適な処置を選択し、その処置にベストを尽くすことを基本理念としてもっています。それから、私たち救急隊が救急出動するとき、いつも気を付けていることがあります。それは、常に「親切」「丁寧」「誠実」な態度と、患者さんの身になって接するということです。まず、市民の皆さんに信頼される救急隊員でなければ、救急という行政サービスは成り立たないと思っています。

● 救急処置の範囲が拡大

赤坂

よく分かりました。緊迫した状況のなかでも、総合的かつ的確な判断が求められるということですね。ところで、中山さんは救急隊士としてどんな気持ちで救急業務にあたっていらっしゃるのですか。

中山

確かに、責任の重大さは以前より大きくなったと思います。しかし、基本的な考え方は変わっていません。とにかく、患者さんやその家族に対して、その場その場で最適な処置を選択し、その処置にベストを尽くすことを基本理念としてもっています。それから、私たち救急隊が救急出動するとき、いつも気を付けていることがあります。それは、常に「親切」「丁寧」「誠実」な態度と、患者さんの身になって接するということです。まず、市民の皆さんに信頼される救急隊員でなければ、救急という行政サービスは成り立たないと思っています。



特集

救える命、そのために

市政モニターの赤坂久志さん(泉)が、救急業務について総社市消防署の中山利典主査にインタビューを行いました。

● 市政モニター
赤坂久志 さん



● 総社市消防署 (認定救命士)
中山利典 主査

赤坂 今、認定救命士というお話ができましたが、どのような人でしょうか。

中山

病院に着くまでの間、気管挿管と薬剤投与という処置ができる人です。私は両方の処置ができる認定を受けています。

赤坂

具体的には、どのような処置ができるのでしょうか。

中山

まず気管挿管ですが、心肺が停止した患者さんの気管内に、直接酸素を送り込むチューブを挿入することができます。これによって、より確実に気道の確保ができます。次に薬剤投与ですが、これは心臓機能が停止した患者さんに、点滴と同時に、アドレナリンを投与することができます。

赤坂

アドレナリンとはどのような薬剤ですか。

中山

簡単にいうと、昇圧剤・強心剤です。

中山

簡単にいうと、昇圧剤・強心剤